

## 令和元年度第2回相談支援部会報告

日時 令和元年10月15日(火) 14:30～16:30  
場所 東久留米市役所 704会議室  
出席 松本(身障福祉協会)、高原(ぶどうの郷)、小林(めるくまーる)、さいわい(本村)、  
岡野(社協)、ハローワーク(山本)、岡島(バオバブ)、佐藤(こぶし)、  
武藤(清瀬特支)、上原(リカバリーハウス)、有馬(ゆう)  
市役所→太田、藤

### 1. 第2回自立支援協議会報告(有馬)

7月23日(火)午後1時30分～東久留米市役所703会議室にて、第5期障害福祉計画・障害児福祉計画等について。

### 2. 自立支援協議会交流会報告(太田、高原)

9月2日(月)午後1時30分から5時まで、東京都社会福祉保健医療研修センターで行われた交流会の概要

「東京都内の自立支援協議会の動向」(平成30年度版)の回覧

「当事者の声を聞く」がテーマ。「何が困っていますか?」という質問が一番困るとのこと。誰でもトイレのことなど具体的なことを自然に話せると良い。

### 3. 相談支援部会の活動について 今後の部会の活動についてみなさんの意見を聞いた

部会の課題として～

- ・この部会で、当事者や事業所の困ったことを聞ける場になれば、と思っていたが、今は広がりすぎて、それぞれの立場のことを聞いても、「あ～そっか～」「わかった～」で終わってしまう。課題をほりさげていきたい。
- ・(自立支援協議会交流会報告でもあった)声なき声をきく、というのは、抽象的でどうすすめていくのかわからない。現場の声を聴いて、この場で伝えて、最大公約数を取りあげるためにどうやればいいのか・・・
- ・そもそも、部会のガイドラインがない。何を話す場なのかわからない。
- ・部会の目的は?
  - 地域のなかで生活の基盤をつくるために何が必要かを話し合う?
  - 障害の理解を深める場?
  - 共生社会のなかで障害のある方の生活をどうしていくか?
  - 情報の共有なのか?

・部会が2つだけ、という区市町村はほとんどない。部会を増やすことが役所側として可能な  
のか？

・「相談支援部会」という名前がわかりにくい。テーマに沿った名前にしたら・・・

・今あがっている課題としては

児童発達支援センターなど、こどもにかかわること

成人余暇

事業所の数などはたらくこと

支援者、ヘルパーの不足

相談支援事業所の集中化（法人以外の利用者の計画相談を作成できる余裕のある事業所が  
少ない）

などか・・・

・施設代表者会の相談支援部会との区別がわからない。相談支援部会であがったことを協議会  
でも話し合うことができるのか？

今後として

・今の部会のなかで、現メンバー+関係者でテーマをしぼってやってみる。

・すすめていくなかで、部会を増やす必要性を再度検討する。

・施設代表者会の相談支援部会のなかで話し合われたことも、検討課題として、協議会で報告  
する。

・次回は、こども関係を予定

テーマとしては「障害がある子ども、ない子どもわかりあえる場にするためには～」

具体的には、親同志のつながり、虐待の事例など。

こども関係を話しあうなかで、こども部会への発展を検討していく。

令和1年10月19日

文責 有馬